

Web セミナー

## 「ウィズコロナ時代と 3D プリンティングによる最終製品製造」

のご案内

開催日：2021年2月18日（木）／申込締切り：2021年2月15日（月）

3D プリンティングとして認知されている Additive Manufacturing（以下 AM）は AI、IoT と並び、次世代の核となる技術として期待されています。これまでは主に試作段階で活用されておりますが、近年では AM 自体のみならずその前後の工程も含めて様々な技術開発が活発となり、活用範囲が最終製品を製造段階まで及んでいます。しかしながら、まだまだ現状の AM 技術では生産効率および部品品質など既存の加工法に劣っており、単純に既存技術を置き換えただけではメリットを見いだすことはできません。AM および製品の価値を高めるには、AM の特徴を活かし、「どこに」「どうやって」使うかが重要な課題となっています。その一方、昨今大流行し収束の兆しが見えない新型コロナウイルスの感染症対策において AM 製部品が活用され話題となりました。今後のウィズコロナ、およびポストコロナ時代における生活様式においても AM の重要性が高まりつつあります。

以上のような背景を踏まえ、本セミナーでは AM をビジネスで活用するためのヒント、先行事例等について、前工程であるソフトウェアや、実際に製品に組み込むための後工程までも含めた視点からご講演いただきます。

本セミナーは、分科会の会員様、および分科会に参加を検討している方を対象としておりますが、今回はその他の方（特に東京都のものづくりを支える企業）も無料で聴講いただけます。

主 催：特定非営利活動法人 VCAD システム研究会 3D プリンター分科会

共 催：地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

協 賛：特定非営利活動法人 VCAD システム研究会

日 時：2021年 2月 18日（木） 13時00分～17時00分

会 場：Web セミナー（Webex によるライブ配信を予定）

受講料：無料

申込先：WEB フォームによる申込

<https://www.iri-tokyo.jp/seminar/210218.html>

問合先：特定非営利活動法人 VCAD システム研究会 3D プリンター分科会

TEL:03-5530-2150

時 間※	科 目	講 師
13:00～ 13:50	ご挨拶 ウィズコロナ社会におけるデジタルイノベーション	VCADシステム研究会 3Dプリンター分科会 主査 (新エネルギー・産業技術総合開発機構) 紋川 亮
13:50～ 14:50	AM技術のこれまでとこれから	東京大学生産技術研究所 教授 新野 俊樹 氏
15:30～ 16:00	専用ソフトウェアを活用したAMソリューション事例	マテリアライズジャパン株式会社 ソフトウェア事業部マネージャー 小林 毅 氏
16:00～ 16:30	金属AMの使い方、後工程、鋳造との使い分け	株式会社コイワイ 専務取締役 小岩井 修二 氏
16:30～ 17:00	AM技術を活用したアバターロボットの開発、普及について	株式会社メルティン MMI 取締役 CTO 關 達也 氏

※講演時間は状況に応じて前後する可能性があります